



人と自然が共存する ^{うるお}潤いのまち雲仙

雲 仙 市

平成27年3月

雲仙市環境基本計画とは…

環境基本計画は雲仙市の良好な環境の保全と創造に向けた環境行政の総合的な施策をとりまとめた計画です。市民が抱く環境の思いを大切にし、雲仙市が目指す環境像の実現に向けて、市民、事業者、市が協力し合って取り組んでいく具体的な目標や取組を示したものです。

計画期間は

- 本計画の計画期間は、平成27年度～平成36年度までの10年間とします。
- 社会経済状況の変化等にもとない概ね5年後に見直すものとします。

取り組む主体は

- 本計画の主体は、市民、事業者、市とします。

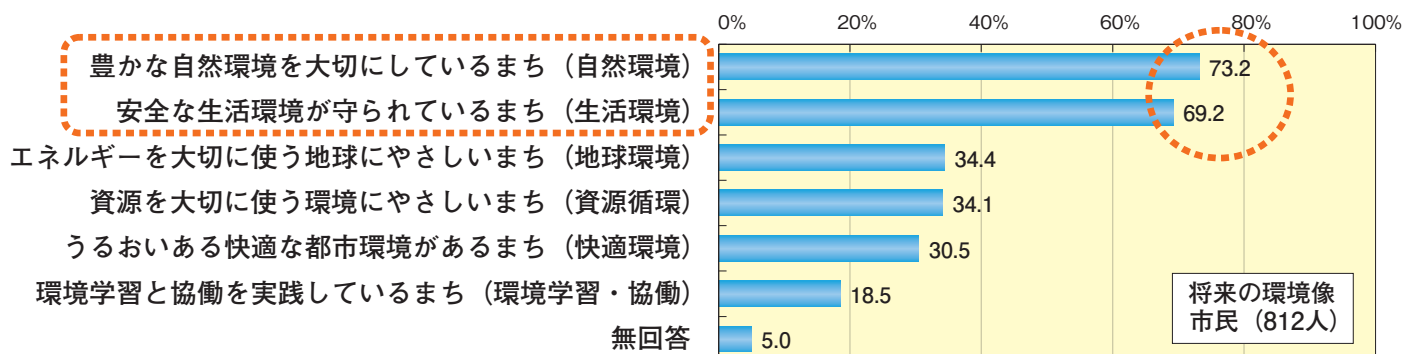


市民が抱く環境の思いは…

■ 将来の環境像

平成25年11月に市民(大人)や小中高生(子ども)に環境に関するアンケート調査を実施し、自然環境への強い思いを知ることができました。

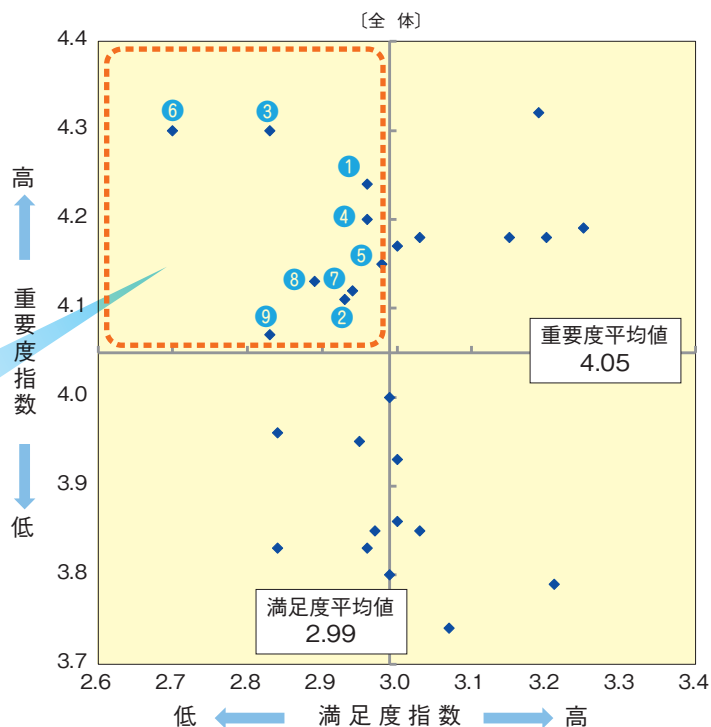
大人も子どもも共通に、自然環境と生活環境がともに約7割と群を抜いています。



■ 環境の取組の満足度と重要度

「重要度」が高く「満足度」が低く、なんらかの対応が求められる緊急性、必要性が高い取組は、「不法投棄の防止・取り締まり」と「歩行者の安全性・快適性」が特に際立っています。

- 河川等の水辺の保全
- 砂浜や自然海岸の保全
- 歩行者の安全性・快適性
- 下水道の整備等の生活排水対策
- 有害化学物質の環境汚染対策
- 不法投棄の防止・取り締まり
- 太陽光発電・風力発電等再生可能エネルギーの利用
- 地球温暖化防止対策の推進
- 市民の地球温暖化防止意識



雲仙市のめざす環境像は…

自然とのふれあいを通じて、市民一人ひとりが心の豊かさを感じながら、みんなで協働して市民生活や都市活動を環境にやさしいスタイルに積極的に変革し、次世代へ継承していく、環境と共生する先進的な都市づくりに取り組んでいくこととし、「雲仙市環境都市宣言」を踏襲し、雲仙市のめざす環境像を次のとおり設定します。

＜雲仙市がめざす環境像＞

人と自然が共存する ^{うるお}潤いのまち雲仙

また、環境像の実現に向けて、「自然との共生」と「環境にやさしいくらしとまち」を目指して、計画を推進していきます。

自然との共生

自然環境と生活環境を一体的に捉えて
自然との共生をめざす

豊かな自然環境との
共生が実現しているまち

自然環境の保全

安全な生活環境が実現しているまち

生活環境の保全

環境にやさしい くらしとまち

地球環境と資源循環、快適環境を一体的に捉えて
環境にやさしいくらしとまちをめざす

地球にやさしい環境が実現しているまち

地球環境の保全

健全な循環型社会が実現しているまち

資源循環の形成

水と緑に囲まれた快適な環境が実現しているまち

快適環境の創造

市民・事業者・行政の協働が実現しているまち

協働の推進

雲仙市環境基本計画の体系は…

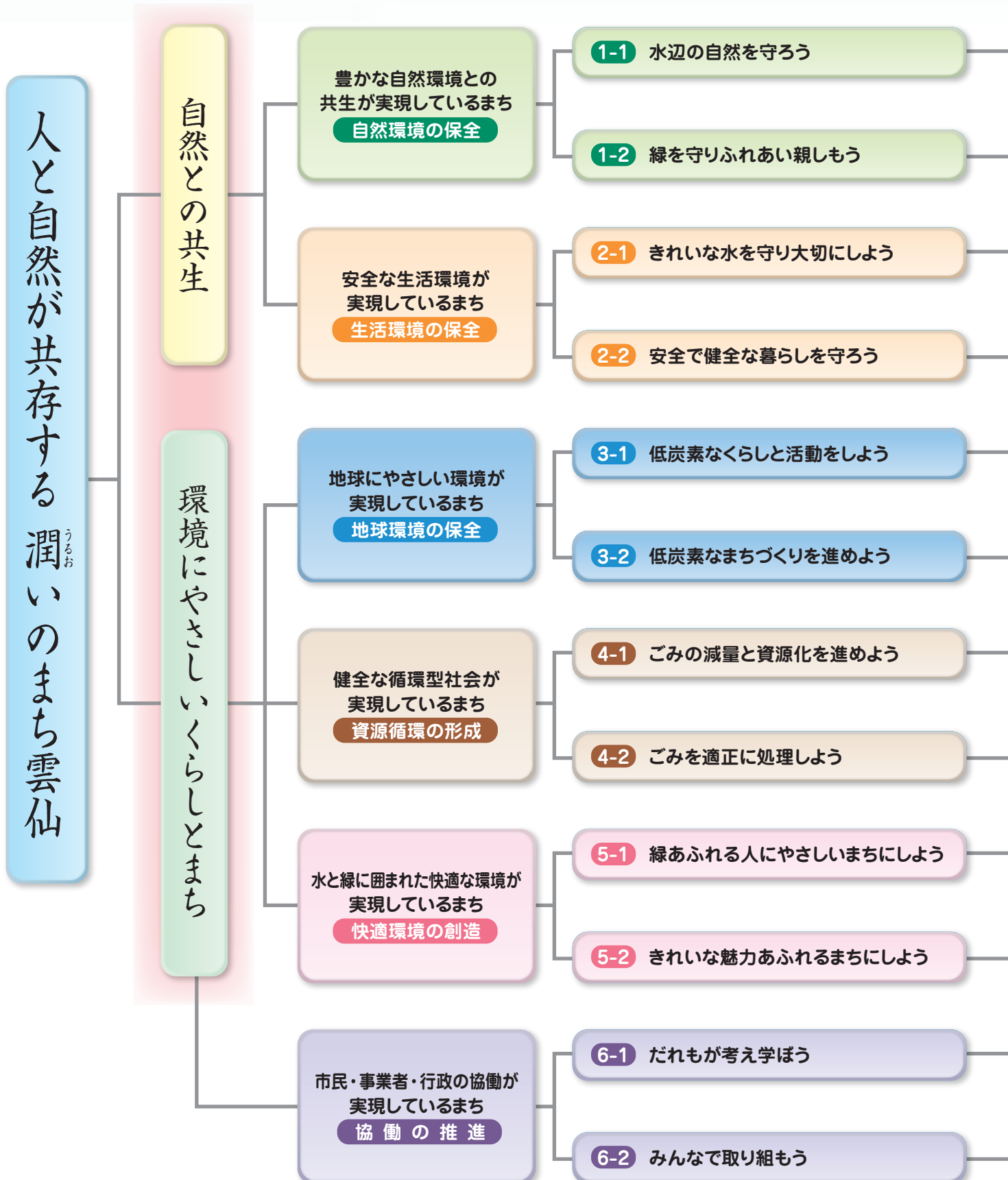
環境像の実現に向けて、環境目標、施策目標を設定し基本施策を実行していきます。

【環境像】

【基本方針】

【環境目標】

【施策目標】



「人と自然が共存する 潤いのまち雲仙」を目指して、 みんなでこんな取組をしよう

【基本施策】

- 多くの生き物や自然とふれあえる川にしよう
- 漂着ごみのない自然が残る海岸にしよう

河川等の水辺保全／海岸等の保全

- 竹林の伐採と活用、間伐材の有効活用による森づくりに取り組もう
- 環境保全型の農業と農村環境整備に取り組もう

森林の保全・育成／農地の保全／自然とのふれあい

- 生活排水対策と浄化槽設置等により、きれいな川にしよう
- 農畜産業における窒素負荷低減対策により、安全な水資源を守ろう

生活排水対策の推進／地下水の保全／水資源の有効活用

- 違法焼却問題を解決し、空気がきれいなまちにしよう
- 環境に配慮した農業を実践しよう

大気の保全／環境汚染の防止

- 省エネルギーを進め、低炭素な生活スタイルを実践しよう
- 事業活動における省エネルギー化を進めよう

低炭素な暮らしの推進／低炭素な事業活動の推進

- 再生可能エネルギーを導入し、エネルギーを有効利用するまちにしよう
- 身近な交通対策から低炭素化を進めよう

再生可能エネルギーの導入推進／低炭素な交通対策の推進

- ごみを減らし、ごみの少ない生活、事業活動を推進しよう
- 資源を大切に使い、リサイクル・資源化を進めよう

ごみの減量推進／ごみの資源化推進

- ごみ分別を徹底し、ごみを正しく処理しよう
- 不法投棄をしないよう、みんなで防止しよう

ごみ出し分別の徹底／不法投棄の防止

- 歩行者や自転車が移動しやすいまちにしよう
- 公園緑地を増やし、緑化を進めよう

歩行空間の整備／公園整備・緑化

- きれいなまち、美しい景観のまちにしよう
- 歴史文化を大切にし、地域の伝統芸能を受け継いでいこう

まちの景観・美化／歴史文化の保全

- 学校での環境教育、講座等での環境学習を充実しよう
- 意識啓発につながる環境情報を充実しよう

環境教育・学習の推進／環境情報の充実

- 参加・協働による環境保全活動を活発にしよう
- 市民・事業者・行政の協働による取組を進めよう

環境保全活動の推進／パートナーシップ体制の推進

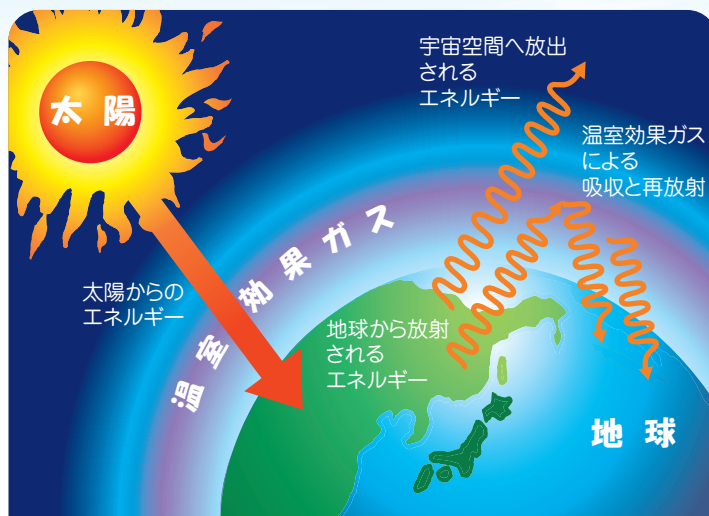
地球温暖化防止がなぜ必要なの?…

■ 地球温暖化とは

太陽から届くエネルギーは、地表や海を温めたり、植物に取り込まれたりします。温められた地表面からは、赤外線が放出され、これが「温室効果ガス」に吸収されます。そして、吸収された熱の一部が再び地表を温めます。これを「温室効果」といいます。この温室効果によって、地球上の生物が生存するために適した環境が保たれています。

「温室効果ガス」には、太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがありますが、これらのガスが増えすぎると、宇宙空間へ放射される熱が一部吸収されたり、地表面に戻されたりして、地上の気温が上昇していきます。この現象を「地球温暖化」といいます。

そのような**温室効果ガスの多くを占めるのが二酸化炭素CO₂**で、石炭や石油の消費によって大気中に大量に放出され、年々増加しています。



温室効果のメカニズム

地球は太陽からのエネルギーで暖められ、暖められた地表面からは熱が放射されます。その熱を温室効果ガスが吸収することで、大気が温められます。

■ 地球温暖化による影響は

地球温暖化が進行すると、気候システムのエネルギーバランスが崩れて、異常気象の頻発や、海水の膨張・氷河の融解による海面上昇等を引き起こすことが予測されており、生態系や生活環境、農作物等へ及ぼす悪影響が懸念されています。

■ 地球温暖化防止のためには

二酸化炭素CO₂の排出量削減のためには、石炭や石油の消費を減らす必要があり、火力発電の電力消費や車のガソリン消費などの削減が必要となっています。そのため、太陽光や風力等の再生可能エネルギーの導入拡大や電力消費を抑える省エネルギー活動促進や自家用車利用から鉄道、バス等への利用転換などさまざまな削減対策が求められています。

そのような地球環境保全、低炭素社会の実現に向けて、雲仙市では地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定しました。

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）とは…

温室効果ガス排出量削減目標を定め、その達成に向け雲仙市の特性を活かした削減対策に市民、事業者、市が協力し合って取り組んでいくために具体的な目標や取組を示したものです。**一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルを心がけ、省エネルギー、地球温暖化防止に取り組みましょう。**

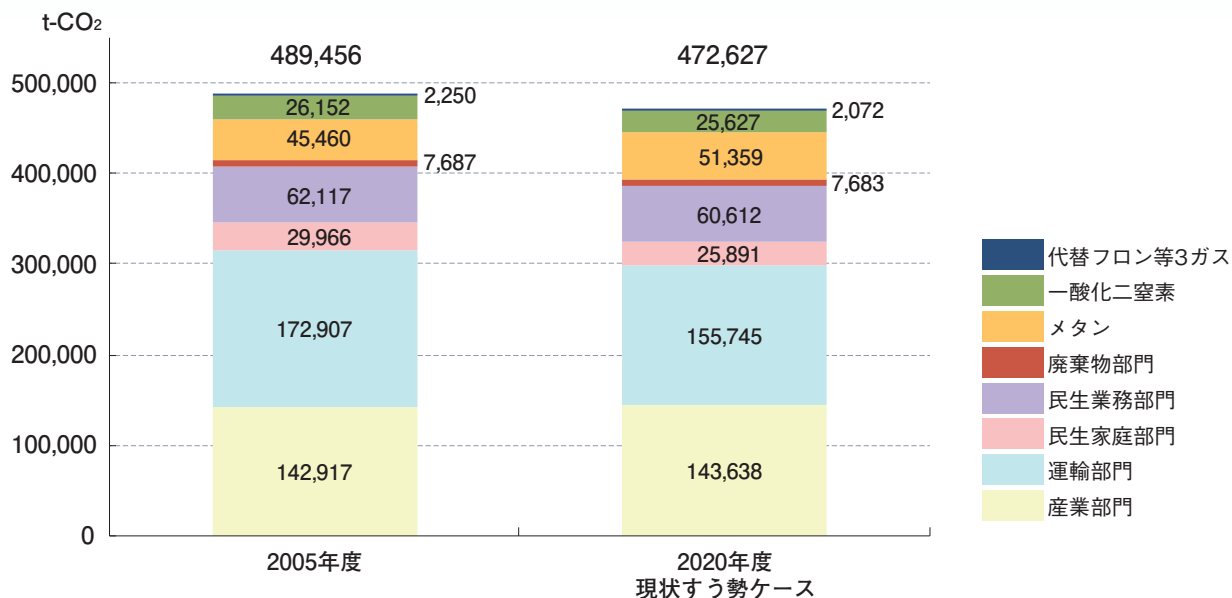
計画期間は

- 本計画の計画期間は、平成27年度～平成36年度までの10年間とし、温室効果ガス排出量削減目標は、2005年度(平成17年度)を基準年度に2020年度(平成32年度)を目標年度とします。

雲仙市の温室効果ガス排出量の現状と将来は…

雲仙市における温室効果ガスの総排出量は、2011年度（平成23年度）で471千t-CO₂です。運輸部門の構成比が33%で最も高く、産業部門が低く、農業等から排出されるメタンの排出量が多いのが特徴です。

現状のまま推移した場合の2020年度（平成32年度）の温室効果ガス排出量推計は、473千t-CO₂となり、若干微増ですがほぼ横ばい傾向で推移し、2005年度（平成17年度）における排出量と比較すると3.4%の減少となっています。



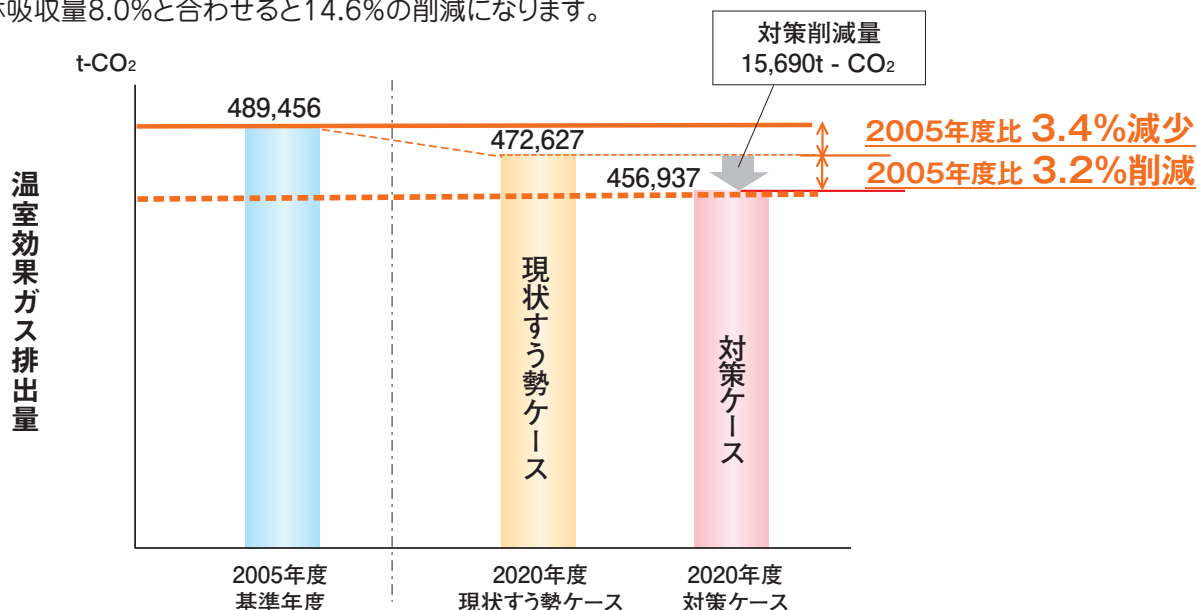
※現状すう勢ケース：追加的な対策を見込まないで、これまでの対策を引き続き現状どおり実施するとした場合のケース。
エネルギー消費機器の効率を現状横這い（現状固定）と想定。

温室効果ガス排出量の現状と将来予測（現状すう勢ケース）

雲仙市の温室効果ガス排出量の削減目標

2020年度（平成32年度）における温室効果ガス排出量を、2005年度（平成17年度）比で削減対策等で6.6%削減を目指します。

なお、森林吸収量8.0%と合わせると14.6%の削減になります。



温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量削減に向けてこんな取組をしましょう!

低炭素な暮らし の推進のために

- 住宅への省エネ家電の普及促進
- 住宅へのLED照明の導入促進 など

低炭素な事業活動 の推進のために

- 事業所への省エネ機器の導入促進
- 庁内地球温暖化対策実行計画推進(エコオフィス活動推進) など

再生可能エネルギー の導入のために

- 住宅への太陽光発電の導入促進
- 事業所への太陽光発電の導入促進 など

低炭素な交通対策 の推進のために

- 次世代自動車の普及促進
- エコドライブの普及促進 など

ごみの減量と資源化 の推進のために

- ごみの減量化の推進 など



雲仙市環境基本計画の推進に向けて…

本計画は、市、市民、事業者、関係団体等、多様な主体の協働により、全市的に取り組んでいくことが重要です。そのため、各主体が連携した推進体制を整備し、計画の着実な推進を図ります。



また、計画を着実に推進するために、取組の進捗状況や数値目標の達成状況を毎年度把握し、市のホームページ等で適宜公表します。



雲仙市環境基本計画 概要版

雲仙市市民生活部環境政策課

〒859-1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

TEL 0957-38-3111 FAX 0957-38-3514

E-mail kankyo@city.unzen.lg.jp